

伴走型DXスタート企業創出事業 2023年4月~2024年2月実施予定 (とくしま産業振興機構)

【課題】

- ・県内企業の約6割がデジタル化やDX推進に関心や必要性を認識しているものの、資金面、デジタル人材不足、意識醸成等が課題となり、具体的な取組みが進んでいない。
- ・特に、これまでの慣習や業務手順の見直し等の経営課題や、具体的な取組手法がわからない等が大きな壁となり、第1歩が踏み込めない。

【目的】

- ・県内企業のデジタル化・DX推進の第1歩を後押しし、持続的に取り組む企業を増やす。
- ・モデルとなる事例を増やし、取組企業の拡大を図る。

【都道府県の施策との連携・親和性】

県の令和5年度当初予算「DXステップアップ推進事業」として、県からも補助を受けて実施する事業であり、県との連携事業も含め、県の施策にも合致している。

【1 本事業の内容】

新 伴走型DXスタート企業創出事業 (A事業)

デジタル導入に意欲的な県内企業に対し、本格的なデジタル化・DX推進の第一歩となる社内の業務改善やシステム整備等の経費の一部を補助し、企業の継続的なデジタル化の取組みを推進する。

<具体的な内容>

- ・実証事業の実施

<想定される実証例>

- ・慣習や業務手順の見直しによる既導入システム等の拡充活用による働き方改善
- ・システム間連携の導入に向けた慣習や業務手順の見直し及びシステム環境の整備

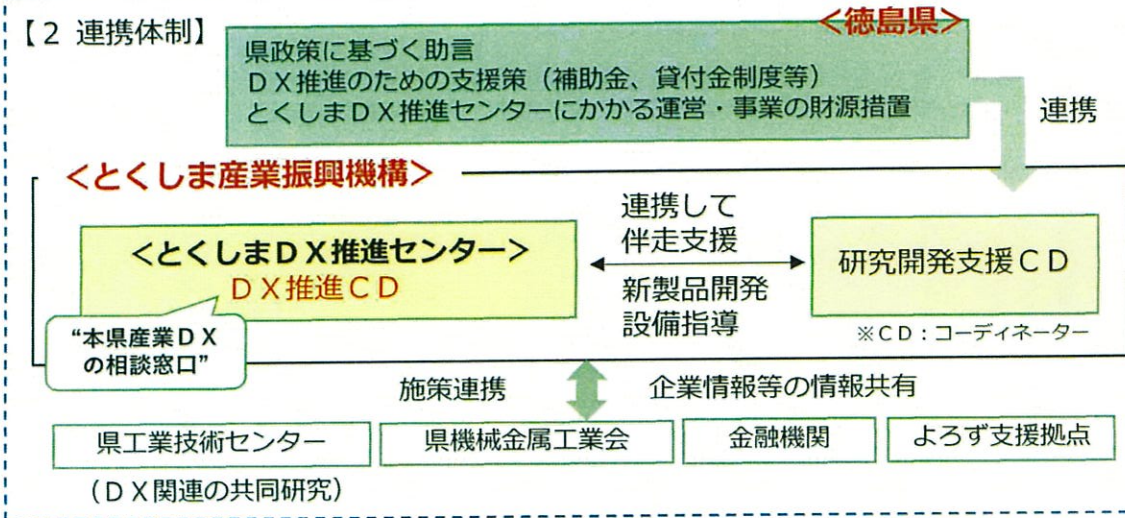
モデル企業の創出 + 企業の共通課題の把握 ⇒ DX推進施策・企業のDX推進

新 社内デジタル人材育成事業 (県予算事業)

自社でのデジタル化の推進方法や業務改善の糸口を見つけることへの悩みを抱えている社内デジタル担当者等を対象に、意見交換の場や汎用ソフトの勉強会等のワークショップを実施し、社内デジタル人材の育成と企業間交流を推進する。

【継続事業】 ①セミナー等による意識醸成・人材育成

【県予算事業】 ②相談対応、個別支援
③事例等情報発信



【成果目標】

○直接的成果目標:

- ・事業実施企業数(4社)
- ・デジタル化・DX推進の継続的取組みの実現(2社)

○間接的成果目標:

県の「とくしま行動計画(R5~R8)」を目標とする予定(現在作成中)

【波及効果】

- ・実証事例の県内企業への波及(横展開)
- ・県内中小企業等のデジタル化・DX推進の促進
- ・付加価値の高い製品開発やイノベーションの創出に繋げ、県内企業の競争力を強化

【将来の支援目標】

○間接的成果目標:

県の「とくしま行動計画(R5~R8)」を目標とする